

	国内	海外						
名称	Intensive English	モンタナ州立大学ビル ングス校（MSUB） Winter ESL Program （冬期英語研修） （アメリカ）	祥明大學校 短期研修 （韓国）	モンタナ州立大学ビル ングス校（MSUB） 交換留学 （アメリカ）	祥明大學校 交換留学 （韓国）	デラサール大学 CIESOL オンライン留学 （フィリピン）	グローバル実践活動 （もやいすとグローバ ル育成プログラム） ※参加にはTOEIC®550点 以上が必要です。	SAF*留学（アメリカ、イ ギリス、カナダ、アイルラ ンド、オーストラリア、 ニュージーランド等） *SAF（Study Abroad Foundation）...2000年に設立 された米国インディアナ州認可の 非営利教育機関
内容	「Intensive English」は 夏季休業期間に実施 している後期集中科目。 「学内授業＋合宿形 式」で行っており、合宿 では県内外の留学生と 一緒に宿泊するため、 英語のみの生活を体験 できます。自分の英語 力を高めたい方、国際 交流に興味のある方に はぴったりのプログラ ムです。	1ヶ月間の語学学習と文 化体験を目的とした語 学研修に参加できます。 ホームステイを通じて海 外の文化や習慣を経験 することができます。 	ホームステイなどを通 して韓国の日常生活を 体験。祥明大學校の学 生と交流しながらの韓 国語研修、百済文化探 訪、ソウル市内研修等 を行います。 	単位互換及び授業料 相互不徴収を内容とし た留学制度で、本学に 在学したまま留学がで きます。本学在学中の 学部学生であれば、誰 でも応募することがで きますが、TOEFL®PBTスコ ア515点(iBTの場合は 68点)が必要。留学先 で修得した単位は、科 目により学部教授会の 承認を得て単位認定さ れます。 	単位互換及び授業料 相互不徴収を内容とし た留学制度で、本学に 在学したまま留学がで きます。本学在学中の 学部学生であれば、誰 でも応募することがで きます。留学先で修得 した単位は、科目によ り学部教授会の承認を 得て単位認定されます。 	英会話やベーシックビ ジネスイングリッシュ など、クラス分けテスト により自分のレベル（1 2段階）に応じた効果 的な英語学習ができ ます（Global Languages の単位認定対象となる 可能性あり）。	海外インターンシップ 、海外ボランティア等 の実社会との接点から 学びを得る学修活動。 大学で用意しているプ ログラムとしてはカン ボジアの政府機関や民 間企業、NGOで約3週 間、実習実践活動（イ ンターンシップ）に参 加できます。学生が自 ら企画・提案すること もできます。	SAF大学ネットワーク に加盟の欧米やオセア ニアの約50の大学中 から留学プログラム（2 週間の短期プログラム やサマーセッション、 1年の長期留学など） を選ぶことができます。
期間	8月中旬～下旬	2月下旬～3月下旬 （1ヶ月間）	9月中旬（1週間）	8月下旬～翌5月 （9ヶ月間）	3月～12月 （10ヶ月間）	9月 （3週間）	9月 （3週間）	2週間～1年間
費用	約1万2千円 	約80万円 （プログラム料金35 万円程度、渡航費 （30万円前後） 等） 	約8万円 （航空費、海外危機 管理サービス会費・保 険料等）	約120万円 ※本学授業料除く 渡航費：往復 約 30万円、寮費＋食 費 約70万円、海 外危機管理サービス 会費・保険料 約15 万円、教材費、手 数料、使用料、雑費 等。ビザ申請や予防 接種の費用等	約50万円 ※本学授業料除く 渡航費：往復約10 万円、寮費 年間 約20万円、海外危 機管理サービス会 費・保険料 約15 万円、教材費、手 数料、使用料、雑 費、ビザ申請や予 防接種の費用等	約5万5千円 	約20万円 （航空費、宿泊費、 海外危機管理サー ビス会費・保険料 等） 	プログラムによる 
※費用については、為替レート により変動する可能性があります。		● 学生交流協定に基づき実施される短期研修・交換留学等については、「短期派遣留学生支援奨学金」を、文学部英語英米文学科の一定期間以上の留学・研修を行う学生に「小辻梅子奨学金」を支給しています。また、「グローバル実践活動」についてはプログラム参加費のうち2分の1の額の助成金（上限10万円）を支給しています。 ● 海外への留学・研修を行う学生（後援会会員のみ）に期間に応じた助成金を支給しています。						

● 海外の大学等で履修した外国語に関わる授業科目について修得した単位で、本学の基準を満たした場合、「Global Languages I・II」の単位とすることができます（2023年以降入学の全学部の学生対象）。
● 海外の大学等で履修した授業科目について修得した単位で、本学の基準を満たした場合、単位として認め「Global Studies I・II・III」の単位とすることができます（2023年以降入学の全学部の学生対象）。
● 英語英米文学科では、協定校への留学、もしくはSAF（Study Abroad Foundation）のプログラムについて、本学の基準を満たした場合、「Studying Abroad I・II」の単位とすることができます（2022年以降入学の英語英米文学科の学生対象）。
● 休学中（ワーキングホリデー等）におけるプログラムの参加は単位認定とはなりません。
● 状況に応じて、各プログラムは中止や延期、もしくはオンラインでの実施に変更となることがあります。